

安達太良山山頂

安達太良山の山頂は、風が吹きさらす険しい高原で、中央には岩の塊がそびえ立っています。山頂の標高は厳密には海拔 1,699.7 メートルですが、標識ではその数字を 1,700 メートルに四捨五入しています。空が晴れていれば、南に和尚山、西に磐梯山や飯豊連峰、北に吾妻連峰を望むことができます。特に晴れた日には、福島県南西端の会津駒ヶ岳まで見えることもあります。

山頂の岩だらけの地面は、数十万年にわたる火山活動の結果です。そのため、そこで見つかる個々の岩石の色、鉱物含有量、組成は非常に多様です。いくつかの岩層には、数千年にわたって堆積したマグマの層複数を示す線が見られます。

中央の岩塊を山頂まで登る道は一方通行で、高原へ下るには別のトレイルがあります。ここは安達太良山登山の中で最も困難な部分であり、登山者は注意が必要ですが、岩にボルトで固定された金属製の梯子のおかげで、より安全かつ容易に登ることができます。山頂標識の横に小さな神社があり、また、下山途中の尾根の下にも山の神様を祀った神社があります。